

米国で年間100万個を販売した人気商品がいよいよ上陸！

カードゲーム・マシン「ウノアタック」を7月上旬に発売

～最後に一発逆転も可能?! 8種類の記号カードで、ハラハラ・ドキドキ度がパワーアップ!～

株式会社 バンダイ

本社:東京都台東区駒形2-5-4

社長:高須 武男、資本金236億

(株)バンダイは、カードゲーム「UNO」シリーズの新商品『ウノアタック』(2,980円/税別)を2003年7月上旬より発売します。販売ルートは全国の百貨店・量販店の玩具売場、玩具店などで、メインターゲットはファミリーで、大人から子どもまで幅広い世代です。

「UNO」は1971年に米オハイオ州で理髪店を営む Merle Robbins (マール・ロビンス) 氏が発明。簡単なルールで奥が深いカードゲームとして、世界約80カ国でこれまでに1億5,000万個が販売されており、世界では年間800万個、日本でも年間70万個(2002年当社実績)販売されている定番カードゲームです。日本ではオリジナル商品の「ドラえもんUNO」「ワンピースUNO」などキャラクターバージョンも発売され人気となっています。

「ウノアタック」は米国にて1999年に発売して以来年間100万個が販売されている人気商品です。当社では、2003年1月から1年間で、新商品『ウノアタック』を含めたUNOシリーズトータルで100万個の販売を計画しています。



写真:『ウノアタック』

(C) 2003 Mattel, Inc., All Rights Reserved.

『ウノアタック』について

『ウノアタック』は、本体に付属のUNOカード(112枚)をセットし、正面のアタックボタンを押すと、ランダムにカードが飛び出すハラハラ・ドキドキのマシンです。

遊び方は、まず各プレイヤーに7枚ずつカードを配り、残ったカードの1番上のカードを表にして「ウノアタック」の上面におき(これを「捨て山」と呼びます)、プレイヤーは前の方が捨てたカードと同じ色・数字かまたは文字カードの指示に従って自分のカードを選び、捨てていきます。そして、残ったカードは「ウノアタック」の内部にセットします。

手持ちに出せるカードがなくなった時、または「ヒットカード」が出た時に『ウノアタック』のボタンを押します。すると、ラッキーならアラームでセーフ(カードは出ません)を知らせ、アンラッキーなら何枚ものカードがプレイヤーめがけて飛び出てきます(多い時で、8枚程度です)。残りのカードが1枚になったら「ウノ!」と宣言し、最後の1枚を捨てたら勝ちとなります。

今回、様々なイベントを起こす「記号カード」も従来のウノの5種から8種類に増えました。どんどんカードが増える悪夢を、上手に記号カードを使いながら切り抜ける、これまで以上に逆転ゲームを楽しむことができます。

【ヒット2カード】

次の人は2回アタックボタンを押さなくてははいけません。カードが出るか出ないかは運次第です。

【ヒットファイアカード】

次の人はカードが出るまでアタックボタンを押しつづけなくてはなりません。

確実に相手にカードを浴びせることができます。

【オールヒットカード】

全員にアタックボタンを押させるカード。アタックを受けるのは誰でしょう?

【ディスカードオールカード】

同じ色のカードを全部捨てられます。一気にカードを減らして逆転可能です。

【トレードハンドカード】

他人の手持ちと交換できます。たくさんのカードを押し付けることができます。

【ワイルドカード】

好きな色のカードに変えることができます。

【リバースカード】

順番を逆まわりにすることができます。

【スキップ】

次の人の順番を飛ばすことができます。

UNOとは・・・

「UNO」は1971年に米オハイオ州で理髪店を営む Merle Robbins (マール・ロビンス) 氏が発明。簡単なルールで奥が深いカードゲームとして、世界約80ヶ国にて1億5,000万個以上が販売されています。全部で108枚のカード【数字、文字カード(ドロー2、ドロー4、ワイルド、リバース、スキップ)】から構成されています。

最後に手持ちのカードが1枚になった際、スペイン語で「1」を意味する「ウノ」という言葉を使うところから、その名前が付けました。

<商品概要>

- 商品名 : 『ウノアタック』
- 価格 : 2,980円/税別
- 発売日 : 2003年7月上旬
- 流通 : 全国の百貨店・量販店の玩具売場、玩具店など
- 商品形態 : パッケージサイズ H267×W270×D100 (mm)
本体サイズ H140×W255×D145 (mm)
カードサイズ H87×W56 (mm)
- 商品仕様 : 本体1個
専用のUNOカード(112枚)のセット
単2電池3本使用/別売り



(C) 2003 Mattel, Inc., All Rights Reserved.

報道関係の方からのお問い合わせ
(株)バンダイ 広報チーム種田、山崎
TEL : 03 - 3847 - 5005
FAX : 03 - 3847 - 5067

一般の方からのお問い合わせ
(株)バンダイ マテル事業部
TEL : 03 - 3847 - 5152

バンダイホームページ <http://www.bandai.co.jp/>